



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月3日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ
 コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名)加藤 照和
 問合せ先責任者(役職名) コーポレート・コミュニケーション室長(氏名)犬飼 律子 (TEL) 03-6361-7100
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	34,417	8.3	6,353	3.3	8,665	19.6	6,632	23.1
2022年3月期第1四半期	31,771	11.9	6,152	8.7	7,247	27.7	5,389	34.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 13,453百万円 (45.2%) 2022年3月期第1四半期 9,263百万円 (266.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	86.70	—
2022年3月期第1四半期	70.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	362,580	269,068	68.8
2022年3月期	350,981	258,109	68.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 249,287百万円 2022年3月期 239,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		32.00	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,900	8.6	10,700	△8.4	14,000	4.4	9,600	△3.7	125.48
通期	138,500	6.9	20,800	△7.0	21,200	△18.2	15,000	△20.4	196.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	76,758,362株	2022年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	251,343株	2022年3月期	251,343株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	76,507,019株	2022年3月期1Q	76,507,898株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりとなりました。

[連結業績]

(単位：百万円)

	2021年 第1四半期	2022年 第1四半期	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	31,771	34,417	+2,645 (+8.3%)
国内	29,513	31,562	+2,048 (+6.9%)
海外	2,257	2,855	+597 (+26.5%)
売上原価	15,298	16,462	+1,164 (+7.6%)
販売費及び一般管理費	10,321	11,601	+1,280 (+12.4%)
営業利益	6,152	6,353	+201 (+3.3%)
経常利益	7,247	8,665	+1,418 (+19.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,389	6,632	+1,243 (+23.1%)

売上高は、前年同期と比べ8.3%増加し、34,417百万円となりました。

国内の売上高は、前年同期と比べ6.9%増加し、31,562百万円となりました。医療用漢方製剤129処方の売上高は、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控え等の影響を受けながらも、ツムラメディカルサイト等のe-プロモーションの拡充を進めたことに加え、不安・不眠・めまい等の処方継続して伸長した結果、前年同期と比べ6.7%増加しました。育薬処方^{*1}の合計は、前年同期と比べ3.9%増加し、主力である大建中湯は前年同期と比べ3.1%増加しました。Growing処方^{*2}については、エビデンス構築により診療ガイドライン収載を目指すべく、新たな成長ドライバーとして人参養栄湯、加味帰脾湯を加え、ラインナップの入れ替えを行いました。Growing処方の合計は、前年同期と比べ9.8%増加しました。

[育薬・Growing処方の売上高]

(単位：百万円)

	売上 順位	製品No. / 処方名	2021年 第1四半期	2022年 第1四半期	前年同期比	
育薬処方	1	100 大建中湯	2,430	2,505	+74	+3.1%
	2	54 抑肝散	1,872	1,933	+60	+3.2%
	4	43 六君子湯	1,770	1,860	+90	+5.1%
	8	107 牛車腎気丸	888	932	+43	+4.9%
	23	14 半夏瀉心湯	345	359	+13	+3.9%
育薬処方合計			7,308	7,591	+282	+3.9%
Growing処方	3	41 補中益気湯	1,818	1,881	+63	+3.5%
	5	17 五苓散	1,297	1,542	+244	+18.8%
	6	24 加味逍遙散	1,205	1,296	+91	+7.6%
	17	108 人参養栄湯	484	507	+23	+4.9%
	18	137 加味帰脾湯	411	501	+90	+22.0%
Growing処方合計			5,217	5,730	+512	+9.8%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			15,852	16,956	+1,104	+7.0%
医療用漢方製剤129処方合計			28,377	30,277	+1,900	+6.7%

また、国内の一般用漢方製剤等の売上高は、取り扱い店舗数の拡大により前年同期と比べ18.5%増加し、914百万円となりました。

海外の売上高は、原料生薬と飲片（刻み生薬）の販売を中心とする生薬プラットフォーム（平安津村薬業有限公司、深セン津村薬業有限公司等）の売上高が大きく寄与し、2,855百万円となりました。

売上原価は、売上高の伸長により前年同期と比べ7.6%増加し、16,462百万円となりました。売上原価率は、前年同期と比べ0.4ポイント低下し、47.8%となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ12.4%増加し、11,601百万円となりました。主に研究開発費の増加と天津工場の稼働に向けた一時費用によるものです。販管費率は、前年同期と比べ1.2ポイント上昇し、33.7%となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期と比べ3.3%増加し、6,353百万円となりました。営業利益率は、前年同期と比べ0.9ポイント低下し、18.5%となりました。経常利益は、為替差益の影響により、前年同期と比べ19.6%増加し、8,665百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ23.1%増加し、6,632百万円となりました。

※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により診療ガイドライン収載を目指す処方

[新型コロナウイルス感染症への取り組み及び業績への影響について]

当第1四半期連結累計期間において、製品供給への影響は国内及び海外ともに出ておりません。また、業績影響については、ロックダウンによる上海工場の稼働停止に伴う国内工場での代替生産、医療機関への訪問による情報提供活動の制限等、一部事業活動への影響を受けております。

不透明な事業環境が続きますが、引き続き状況の変化を注視するとともに、感染予防に細心の注意を払った生産・物流の維持により、今後も製品の供給・情報収集・提供活動等への対応を行ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は362,580百万円で、前連結会計年度末に比べて11,598百万円の増加となりました。流動資産は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ8,428百万円の増加となりました。固定資産は、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて3,170百万円の増加となりました。

負債合計は93,512百万円で、前連結会計年度末に比べて640百万円の増加となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べて923百万円の増加となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて283百万円の減少となりました。

純資産合計は269,068百万円で、前連結会計年度末に比べて10,958百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて4,184百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて5,332百万円の増加となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて1,441百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は0.5ポイント増加して、68.8%となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間は、営業活動によるキャッシュ・フローが4,785百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが4,145百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが2,418百万円の支出となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,785百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益8,661百万円、支出項目では法人税等の支払額2,948百万円であります。前年同期との比較では、1,424百万円収入が増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,145百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出3,763百万円であります。前年同期との比較では、1,044百万円支出が増加しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,418百万円の支出となりました。主な内訳は、配当金の支払額による支出2,401百万円であります。前年同期との比較では、47百万円支出が増加しております。

その結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて486百万円増加し、68,022百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしました。

① 2023年3月期第2四半期(累計) (2022年4月1日～2022年9月30日) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	67,000	9,800	10,000	7,400	96.72
今回修正予想 (B)	68,900	10,700	14,000	9,600	125.48
増減額 (B-A)	1,900	900	4,000	2,200	
増減率 (%)	2.8%	9.2%	40.0%	29.7%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	63,416	11,684	13,409	9,965	130.26

② 2023年3月期通期 (2022年4月1日～2023年3月31日)

2022年5月10日に公表しました業績予想から修正はありません。

③ 修正の理由

2023年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、為替相場が円安となったことで、営業外収益における為替差益が28億円ほど計上される見込みです。これに伴い、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が当初計画を大きく上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

通期の連結業績予想につきましては、年間計画を精査しましたが、今後の為替相場の状況により、為替差損益が大幅に変動する可能性があることから、現時点では合理的に算定することが困難であるため、年初計画から修正しないことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,552	68,044
受取手形及び売掛金	54,879	57,297
商品及び製品	10,247	10,368
仕掛品	13,614	13,054
原材料及び貯蔵品	68,889	72,480
その他	14,360	16,729
貸倒引当金	△123	△126
流動資産合計	229,420	237,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,563	91,141
その他	96,621	99,826
減価償却累計額	△96,143	△99,134
有形固定資産合計	90,040	91,833
無形固定資産		
のれん	8,513	8,961
その他	3,814	3,994
無形固定資産合計	12,328	12,956
投資その他の資産		
投資有価証券	10,184	10,530
退職給付に係る資産	2,842	2,950
その他	6,165	6,459
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	19,192	19,941
固定資産合計	121,561	124,731
資産合計	350,981	362,580
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,676	14,640
短期借入金	10,313	10,313
未払法人税等	3,271	2,729
その他	18,614	19,116
流動負債合計	45,875	46,799
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	9,377	9,377
退職給付に係る負債	55	55
役員株式給付引当金	—	27
その他	7,563	7,253
固定負債合計	46,996	46,713
負債合計	92,871	93,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	13,732	13,732
利益剰余金	182,929	187,114
自己株式	△682	△682
株主資本合計	226,121	230,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,324	2,563
繰延ヘッジ損益	2,020	2,531
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	6,911	11,492
退職給付に係る調整累計額	△280	△279
その他の包括利益累計額合計	13,648	18,980
非支配株主持分	18,339	19,781
純資産合計	258,109	269,068
負債純資産合計	350,981	362,580

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	31,771	34,417
売上原価	15,298	16,462
売上総利益	16,473	17,954
販売費及び一般管理費	10,321	11,601
営業利益	6,152	6,353
営業外収益		
受取利息	85	115
受取配当金	126	134
為替差益	836	1,999
その他	96	102
営業外収益合計	1,144	2,351
営業外費用		
支払利息	44	34
その他	4	5
営業外費用合計	49	39
経常利益	7,247	8,665
特別利益		
固定資産売却益	13	1
特別利益合計	13	1
特別損失		
固定資産除却損	107	6
特別損失合計	107	6
税金等調整前四半期純利益	7,153	8,661
法人税等	1,831	1,911
四半期純利益	5,321	6,750
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△67	117
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,389	6,632

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,321	6,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△915	239
繰延ヘッジ損益	5	511
為替換算調整勘定	4,817	5,916
退職給付に係る調整額	5	0
持分法適用会社に対する持分相当額	29	34
その他の包括利益合計	3,941	6,703
四半期包括利益	9,263	13,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,284	11,964
非支配株主に係る四半期包括利益	979	1,488

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,153	8,661
減価償却費	2,155	2,456
のれん償却額	107	119
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21	△4
受取利息及び受取配当金	△212	△249
支払利息	44	34
有形固定資産除売却損益(△は益)	93	4
売上債権の増減額(△は増加)	△2,864	△1,879
棚卸資産の増減額(△は増加)	△923	746
仕入債務の増減額(△は減少)	1,025	146
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△104	△108
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	2
その他	441	△2,351
小計	6,940	7,576
利息及び配当金の受取額	213	206
利息の支払額	△72	△49
法人税等の支払額	△3,720	△2,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,360	4,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	26	△6
有形固定資産の取得による支出	△2,957	△3,763
有形固定資産の売却による収入	13	1
無形固定資産の取得による支出	△19	△134
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,275	△734
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	3,274	732
貸付けによる支出	—	△164
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△163	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,101	△4,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,354	△2,401
その他	△17	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,371	△2,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,722	2,266
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△390	486
現金及び現金同等物の期首残高	59,668	67,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,278	68,022

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）または流動負債（その他）として繰り延べております。